

## 注記事項 [法人単位]

### [貸借対照表関係]

#### ・有価証券関係

##### 1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:円)

	種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債・地方債等	36,374,923,225	37,304,370,000	929,446,775
	小 計	36,374,923,225	37,304,370,000	929,446,775
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債・地方債等	4,599,250,258	4,541,260,000	-57,990,258
	小 計	4,599,250,258	4,541,260,000	-57,990,258
合 計		40,974,173,483	41,845,630,000	871,456,517

##### 2. 満期保有目的の債券の今後の償還予定額

	1年以内	1年超5年未満	5年超10年未満	10年超
国債・地方債等	3,999,506,915	20,186,210,781	13,889,346,988	2,899,108,799
合 計	3,999,506,915	20,186,210,781	13,889,346,988	2,899,108,799

#### ・固定資産の減損関係

##### (鉄鋼館、万国橋関係)

##### 1. 減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、帳簿価額等の概要 (単位:円)

資 産 名	鉄 鋼 館	万 国 橋
用 途	展 示 館	連 絡 橋
種 類	建 物	構 築 物
帳 簿 価 額	107,507,980	14,012,866

##### 2. 認められた減損の兆候の概要

固定資産が使用されている方法について、現状において当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じていることから、減損会計基準「第3減損の兆候」第2項(2)に該当し、減損の兆候が認められます。

##### 3. 減損の認識をしない理由

鉄鋼館及び万国橋については、使用する合理的な計画を有し、改良を加えることにより全部の資産の使用を予定しているため、減損を認識いたしません。

##### (エキスポランド跡地関係)

##### 1. 減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、帳簿価額等の概要 (単位:円)

資 産 名	土 地	催 物 館 他	日 本 の 森 他
用 途	公 園 敷 地	展 示 館 他	造 園 施 設 他
種 類	土 地	建 物	構 築 物
帳 簿 価 額	6,525,766,477	46,470,384	25,056,371

##### 2. 認められた減損の兆候の概要

固定資産が使用されている方法について、現状において当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じていることから、減損会計基準「第3減損の兆候」に該当し、減損の兆候が認められます。

##### 3. 減損の認識をしない理由

エキスポランド跡地については、使用する合理的な計画を有し、改良を加えることにより全部の資産の使用を予定しているため、減損を認識いたしません。

なお、同跡地に残存している遊戯施設等の撤去を所有する(株)エキスポランド等に求めておりますがその後、同跡地の整備費用が発生する見込であります。しかし、その金額を見積もることは困難であります。

### [損益計算書関係]

当機構は、平成20年度の法人税法改正に伴う法定耐用年数の変更を契機として資産の利用状況等の見直しを行い、当事業年度より一部の機械装置について耐用年数の変更を行っております。この変更に従い、従来の方法によった場合に比べて、当事業年度の経常利益、当期純利益、当期総利益は、それぞれ8,140,656円減少しております。

[キャッシュ・フロー計算書関係]

1. 資金の期末残高の貸借対照表科目別内訳

現金及び預金	736,065,796 円
資金期末残高	736,065,796 円

[行政サービス実施コスト計算書関係]

1. 引当外退職給付増加見積額

引当外退職給付増加見積額は、国及び大阪府からの出向職員にかかるものであります。

2. 機会費用の計上方法

政府出資金及び大阪府出資金の機会費用の計算に使用した利率は、国債利回り等を参考に1.340%としております。

[重要な債務負担行為]

該当なし

[重要な後発事象]

該当なし

[区分経理]

独立行政法人日本万国博覧会記念機構法に基づき、公園事業にかかる経理(第一号勘定)と基金事業にかかる経理(第二号勘定)に区分しております。